

## 特色ある講座について

はじめに

教育センターで実施している研修講座は、その講座の目的によって小学校中学校・高等学校と学校種別に開設されているものと、小学校・中学校・高等学校又は小学校・中学校あるいは中学校・高等学校と学校種別を超えて共通に研修する講座がある。

いずれの講座においても教師の教職教養や教科並びに職務等の専門教養の向上をめざし、その研修結果が児童・生徒の教育に還元できるよう研修内容を組んでいる。

このため、三泊四日の研修期間に多くの内容がもりこまれ、ある面をもつと深く研修したいという要望にそえなさいこともあるが、研修内容は年々反省を加えよりよい研修ができるようにと努力している。

次に、比較的特色のある二、三の講座について紹介する。

一、主題研究重視の学校経営講座  
この講座は、学校経営の諸問題について研修を深め、その識見と指導力を高めることを目的として、年間十二日間の研修日を三期にわけて行っているものである。

## 一、主題研究重視の学校経営講座

この講座は、学校経営の諸問題について研修を深め、その識見と指導力を高めることを目的として、年間十二日

学校経営講座は、学校経営(A)講座と  
学校経営(B)講座にわかれているが、(A)  
講座は小・中学校及び高等学校の教頭  
を、(B)講座は小・中学校的教務主任等  
を対象としており、それぞれ三十名の  
定員で研修している。

研修者は、学校におけるそれぞれの立場の実践課題から研究主題を設定し、一日二三回の座談、一日一計画、二

○ 企業経営と研修の新方向

国立教育研究所第二研究部  
第四研究室長 牧 昌見

國立教育研究所第二研究部

住友金属鉱山株式会社建材本部  
業務部長 猿谷 雅治

○文化と人間

## ○日本の現状と課題

福島民友新聞社  
編集主幹 斎藤英記

## 〔学校経営(B)講座〕

### ○学習理論

郡山女子大学短期大学部  
教受 島谷川寿郎

# ○教育行政と管理の問題

文部省地方課  
課長補佐 小林 敬治

○管理者の心構え

○教育経営体としての学校の組織と  
理事長 佐藤 信

岩下新太郎  
東北大學教授  
運營

○情報化社会と教育  
福島民報社

福島民報社

この講座の成果は、研修者の貴重な体験として学校経営の反省に、また実践に

かされ、主題研究の報告書は教育センターの資料として、学校経営の改善、研

元の手引き等に広く活用されている。

中学校・高等学校国語講座

奥の絆道「臨地研究」  
中学校・高等学校国語講座

編集局長 河田 亨  
この講座の成果は、研修者の貴重な体験として学校経営の反省に、また実践に生かされ、主題研究の報告書は教育センターの資料として、学校経営の改善、研究の手引き等に広く活用されている。